

文德天皇 承和元年八月四日

十七歲

白河院 延久元年四月廿八日

十八歲無例

十九歲

村上天皇

廿歲無例

廿一歲無例

廿二歲

嵯峨天皇 大同元年五月五日

〔增鏡九草枕〕文永十一年正月廿六日、春宮宇多後に位譲り申させたまふ、略中東の御方藤原深草后の若宮見伏を坊に立奉りぬ、十月五日節會行はれていとめでたし、略中御門宇多後よりはいま二ばかりの御このかみなり、儲の君御年まされるためし、遠き昔はさておきぬ、近頃は三條院、小一條院、高倉院などやおはしましけん、高倉院の御末ぞ今もかく榮えさせおはしませば、かしこき例なめり、

〔羽倉考一〕立太子東宮宣下

明正院後光明院後西院不可有立太子乎之事

明正院後光明院後西院三代ハ、立太子ノ事見エザルヨシ、案ズルニ、明正院ハ女帝ナレバ立太子ノ事アル可ラズ、古來女帝ノ立太子イマダ所見アラズ、後西院ハ花町殿トテ一品式部卿親王ニテ在シニ、後光明院御在位ニテ俄ニ崩ジ賜ヘレバ、是亦立太子ノ事ナキナルベシ、唯後光明院ハ、